

## ♪第7回手打ちそば伝道師技能検定埼玉大会開催される♪

ジャパン直轄技能検定会では7回目となる手打ちそば伝道師技能検定埼玉大会が1月14日(土)、15日(日)の2日間開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大第8波の中ですが、ワクチン接種証明又は抗原検査陰性の結果証明を義務付けて無観客で開催しました。

募集人員は各日40人、合計80人で定員を超える83人の申し込みがありましたが、新型コロナウイルス感染など最終的には79人の受検者でした。

受検者は男性62人、女性17人で、年齢は最高齢86歳、最低年齢は11歳(小学5年生)で平均年齢は63歳ですが小中高生が平均年齢を押し下げています。

正しく、🍜老若男女誰もが楽しめる手打ちそば🍜となっています。

昨年の大会で初段を合格した小学生が二段に挑戦し見事合格し、現在小学生の有段者3名のうち二段が1人となり、来年が楽しみです。

ジャパンの技能検定制度1～3級と初段から六段までですが、この7回から六段が加わり、ジャパン始動3年目にしてすべての段位検定会が開催されることになりました。

その結果、この大会後の段・級位認定者数は1級から3級まで114人、初段から六段までが696人計824人となっています。(当法人HP参照)

なお、六段の検定は採点方法の確立のため技能検定委員会メンバーを中心の検定員で実施したので、14日は2グループ10人の検定員で実施しました。

以下に技能検定会の概要を報告いたします。

- 1 開催日 令和5年1月14日(土)～15日(日)
- 2 会場 埼玉県県民活動総合センター
- 3 主催 NPO法人そばネットジャパン
- 4 検定段位 初段、二段、三段、四段、五段、六段
- 5 募集人員 1日40人 計80人(応募者83人)
- 6 受検者数と合格者数

段位	受検者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
初段	16	16	100.0
二段	16	14	87.5
三段	5	4	80.0
四段	17	13	76.5
五段	15	10	66.6
六段	10	3	30.00
計	79	60	75.9

### 7 検定員

#### 14日 初段・三段

検定員長	渡部 隆夫	師範・技能検定員
副検定員長	城 幸夫	師範・技能検定員
検定員	岸 正明	師範・技能検定員
検定員	渡部 千代子	准師範・技能検定員
検定員	金子 雄二	准師範・技能検定員

#### 六段

検定員長	阿部 成男	師範・技能検定員
副検定員長	田中 憲一	師範・技能検定員
検定員	荻原 武雄	師範・技能検定員

検定員	梶川光二	師範・技能検定員
検定員	柴崎友子	准師範・技能検定員

厚み測定員	鈴木幹男	准師範・技能検定員
厚み測定員	岡田辰夫	准師範・技能検定員

15日 初段・三段・五段

検定員長	原口玉枝	師範・技能検定員
検定員	岡田辰夫	准師範・技能検定員
検定員	堀井昭雅	准師範・技能検定員
検定員	鈴木幹男	准師範・技能検定員
検定員	田中義男	准師範・技能検定員
厚み測定員	加藤孝子	准師範・技能検定員
厚み測定員	干川重之	准師範・技能検定員

画像で紹介

14日(土)



開会式の前に、田中技能検定副部長から受検者へ検定にあたっての留意事項を説明し、質疑を受けます。



さあ、1組目二段の組の始まりです。右から渡部検定員長、城検定副員長、渡部、金子、岸の各検定員



二段位の検定ですが、特に1組目は受験者、検定員も緊張気味です。



二段位2組目の小学生5年生です。打ち台の高さに合わせた踏み台を使用しています。



六段の検定では、厚み測定のほか、たたみ終了後の寸法も計測しました。



成績発表後、段位ごとの代表者に認定証が授与されました。小学5年生は二段を見事に合格です。来年は三段位に挑戦してください。



2日目は初段、三段、五段位です。右から原口検定員長、岡田、堀井、鈴木、田中の各検定員です。



1組目は初段で、全員初めての検定受検でやはり緊張感が漂います。



五段(郷土そば)は全員が戸隠そばで、太く、長い一本の棒で直径100cm近くに丸く延し上げます。



検定が終了して成績発表までの空き時間に阿部代表が受検者にジャパン技能検定制度について説明をしました。





成績発表の前に原口検定員長から各段位に求められる技能のポイントなどを含めて詳しい講評がありました。



初段合格の認定証授与代表は見事なそば打ちを披露した中学2年生です。阿部代表が来年は二段に挑戦していただきたいと伝えました。

### 【検定会を振り返って 代表理事・技能検定委員会委員長 阿部成男】

◆年末からの新型コロナウイルス感染急拡大が懸念されたが、受検者、スタッフについてワクチン4回以上接種又は前日の抗原検査陰性の確認を徹底するなど感染防止体制を強化したこともあり、会場も余裕があって和やかに開催された2日間だったと思います。◆昨年、初段位合格した小学生男子が5年生となり二段に見事合格し、さらに、中学2年女子が技能の高さはもとよりリズムカルで美しい所作で初段を好成績で合格したことは、そばネットジャパンが標榜する「誰もが楽しい手打ちそば」として定着していく明るい展望となりました。今後とも「子どもそば打ち教室」の普及と併せて小中学生が級、段位にチャレンジできるよう取り組んでいきたいと思っています。◆六段の検定では合格率が30%で11月に開催した六段位検定会の38%を下回る結果になりましたが、ほとんどの受検者が「延しの技術が未熟」でさらしなそば打ちに慣れてないことが明白であり、稽古を重ねて再チャレンジをしていただきたい。◆昨年のこの大会で、受検者に義務付けていた「終了宣言」の廃止を試行し、会員主催の大会でも実施していただいた結果大変好評であったことから、全ての検定会で実施するよう技能検定委員会から検定主催者に要請することとしたい。◆そばネットジャパン検定制度の特色の一つである「ロス量」(最後に残った10cm以下の切り残し量)であるが、今回、ロス量の基準を超えて減点となった受検者は四段と六段で各1名と昨年の10人と比べて大きく減少しており日ごろの稽古でロスを少なくする努力の成果が表れてきていると推測され嬉しい結果でありました。◆SDGsの目標にも「世界中での飢餓ゼロ」がありますが、もとより食材を無駄にしないことは大切なことであり、私たちにできる「そばロスゼロ」を全会員で推進していきましょう。◆終わりにコロナ禍でもあり、感染対策に気配りしながら稽古を続け受検された皆様、さらに、受検者を支えていただいた多くのスタッフの皆様へ感謝です 🙏 (了)